

三 金田敬老会 三 会場の初回到笑顔が集う

旧町単位の3会場で開催する福智町敬老会の初回として金田・神崎地区対象の敬老会が、9月18日に金田体育館で開かれました。本年度の70歳以上の敬老会該当者は金田地区が1460人、町全体では4982人。台風13号が去って間もないこともあり、例年よりやや少なめの530人が参加しました。多数の来賓を招いた式典では、浦田町長が「町を築いてこられた大先輩方が元気なことは大変心強いです」とあいさつ。その後のアトラクションでは保育園児や文化団体による舞踊や歌などのステージ披露を楽しみました。



↑金田保育園のかわいらしい和太鼓演奏に、大きな声援が送られていました。

緑 第1回 福智町町民健康ゴルフ大会 緑に包まれてさわやか交流

初めての開催となる町民健康ゴルフ大会が、9月4日に西日本カントリークラブ(直方市)で行われました。当日は、少し蒸し暑い天候でしたが、鮮やかなグリーンの上では62人がプレイし、さわやかに交流。16組が18ホールに汗を流しました。試合はダブルペリア方式で行われ、順位は1位:朝部壽さん、2位:皆川高司さん、3位:渡辺文雄さんでした。



↑メンバーが見守るなか、ホール中盤にさしかかった緊張のパッティング。

↑最高賞を受賞した「鉄釉大鉢」を手にする上野焼窯元の熊谷光修さん。



熊 福岡県伝統工芸品展 熊谷光修さんの「鉄釉大鉢」最高賞に

国指定の伝統的工芸品7品目を集めた県内の展示会が8月末から福岡市で開かれ、九州経済産業局長賞に熊谷光修さん(上野焼窯元)の「鉄釉大鉢」が選ばれました。半径およそ40cmの大鉢を彩るしっとりとした茶色は、通常赤茶色になる鉄釉を研究して出した色。「いい色が出た」という熊谷さんの自信作が176点中、最高賞に輝きました。

↑窯元の手ほどきもあり、ろくろを上手に使って器が完成していきます。



窯 生きがいデイサービス陶芸教室 窯元の指導で陶芸にチャレンジ

9月15日に社会福祉協議会の生きがいデイサービスで陶芸教室が開かれました。コスモス保健センターに町内全域から65歳以上の24人が参加。ろくろ台に手びねりで成形し、上野焼協同組合青年部の6人が指導にあたりました。初めて挑戦する人も多く、はじめは慎重でしたが、コツをつかむと大胆な作品が形作られていました。

↑子ども達は手元に集中、赤池地区37人・金田地区47人・方城地区68人・町外3人が参加。



自 勾玉づくり盛況 自分だけの宝物づくりに熱中

児童センターと方城地区中長期プラン「子どもと共に何かをする会」の共催による「勾玉づくり」が9月10日に同センター前広場で行われました。町内全域から155人の親子が参加。縦横3cm、厚さ1cmほどの滑石に輪郭を描いてブロックで削り、鉄のヤスリで形を整えた後、紙ヤスリで光沢を出していきます。会場では子どもたちだけでなく大人も真剣。それぞれ妥協することなく磨き上げ、自分だけのオリジナルの勾玉を完成させました。

夢 金田中学校3年生職場体験学習 夢の仕事は楽しいけどやっぱり大変

8月19日から9月6日にかけて、金田中学校の3年生が町内外の事業所や公共施設25か所で職場体験をしました。生徒に社会人としてのマナーや常識を学んでもらおうという試みで、85人が活動。生徒は自分の夢としている職場を体験し、初めは戸惑いながらも、実際に仕事をしていく中で、働くことの楽しさと大変さを同時に学びました。



↑そよ風保育園で、楽しみつつもしっかり園児の世話をした吉田一円くん。

↑お孫さんとカレーを味わい楽しい会食、笑顔が絶えない一日でした。



ず 金田保育園「祖父母との交歓会」 ずーっと元気で長生きしてね

金田保育園の園児たちが心待ちにしていた「祖父母との交歓会」が、9月15日に行われました。三区老人会のみなさんもお招きして、歌や踊りを披露したり、一緒にゲームを楽しんだあとは、日ごろの感謝を込めた肩たたき。なかには「強くない?」と気にかける園児の姿も…お年寄りを大切にしようとする意識が自然に芽生えたようでした。